

大名屋敷におけるサロン文化の研究

— 『弘前藩庁日記』を中心に—

課題番号 14510480

平成14年度～平成16年度科学研究費補助金（基盤研究（C））研究成果報告書

平成17年3月

研究代表者

武井協三

人間文化研究機構 国文学研究資料館 文学形成研究系 教授

はしがき

本冊子は、独立行政法人日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究(C)）を受けて行った「大名屋敷におけるサロン文化の研究－『弘前藩庁日記』を中心に－」についての研究成果報告書であり、研究の成果を広く学界および社会に還元しようとするものである。

研究組織

研究代表者：武井協三（人間文化研究機構 国文学研究資料館 文学形成研究系 教授）
研究分担者：青木直己（株式会社虎屋 虎屋文庫 課長）
研究分担者：入口敦志（人間文化研究機構 国文学研究資料館 文学資源研究系 助手）
研究分担者：大友一雄（人間文化研究機構 国文学研究資料館 アーカイブズ研究系 教授）
研究分担者：阪口弘之（大阪市立大学大学院 文学研究科 教授）
研究分担者：鈴木公子（近畿大学 文芸学部 助教授）
研究分担者：山下則子（人間文化研究機構 国文学研究資料館 文学形成研究系 教授）
研究分担者：渡辺憲司（立教大学 文学部 教授）

鈴木公子は筆名「林公子」で本冊子には記載されている。

研究協力者：加賀佳子
研究協力者：金子健（早稲田大学大学院 文学研究科）
研究協力者：鈴木博子（大阪市立大学大学院 文学研究科）

交付決定額（配分額）

（金額単位：千円）

	直接経費	間接経費	合計
平成14年度	900	0	900
平成15年度	800	0	800
平成16年度	1,300	0	1,300
総計	3,000	0	3,000

研究発表

- 学会誌等 武井協三「近松の芝居を楽しむ殿様」『囀』51号、平成14年8月
鈴木博子「加賀藩前田家記録にみる元禄～享保期江戸演劇界－土佐少掾活動時期・小山二郎三郎代替わりなど－」『演劇研究会会報』29号、平成15年6月
鈴木博子「屋敷方における御出入り役者の動向－岡山藩池田家操・歌舞伎上演記事を中心に－」『歌舞伎－研究と批評－』31号、平成15年6月
鈴木博子「江戸の屋敷方における操・歌舞伎」『都市文化研究』3号、平成16年3月
- 口頭発表 武井協三「初期歌舞伎の演技・An Acting in Early Kabuki」E A J S（ヨーロッパ日本学会）平成14年8月30日 於ワルシャワ大学
- 出版物 武井協三『江戸歌舞伎と女たち』角川書店、平成15年10月31日

研究成果による工業所有権の出願・取得状況 なし

目次

はしがき・研究組織・交付決定額・研究発表

研究の目的・研究の概要…………… 1

研究成果一序にかえて…………… 2

研究発表・討議・資料

金子健「今治市河野美術館所蔵『歌舞伎遊楽図屏風』について」…………… 5

鈴木博子「池田家・前田家記録からみた『弘前藩庁日記』の芸能記録について」…………… 30

林公子「『弘前藩庁日記』の記述と「別紙／別帳」との関係について」…………… 57

加賀佳子「津軽家上屋敷における芸能上演と、津軽家の人々・客の関係」(一)…………… 85

加賀佳子「津軽家上屋敷における芸能上演と、津軽家の人々・客の関係」(二)……………107

渡辺憲司「『山鹿素行年譜』について」……………126

渡辺憲司「津軽家大名サロンと文芸…山鹿素行との関連を中心に」……………132

青木直己「津軽藩江戸藩邸における菓子の饗応—上菓子大成期を中心に」……………143

津軽家江戸屋敷役割分担索引…………… 1

研究の目的

近世期の江戸の町には、諸大名の江戸屋敷が多数存在していた。大名の江戸屋敷には、当時の文化人たちが集い、一種の文化サロンが形成されていた。

弘前藩の江戸屋敷でも、しばしば歌舞伎・人形浄瑠璃の上演があり、この芸能の場には観客として、文化人が招請されている。近年学界に紹介された『弘前藩庁日記』を主たる資料とし、弘前藩邸におけるサロン文化の実態を明らかにすることが、本研究の目的である。さらに『大和守日記』など、他の藩邸記録をも視野に入れることにより、当時の大名を中心とするサロン文化全般の考察も行いたい。

また巨視的には、大名と文化人の関係を考察することにより、パトロンと文化創造の関係を明らかにし、もって我が国の文化とパトロネージのあるべき関係を解明することを目標としている。

研究の概要

弘前藩の江戸屋敷ではしばしば芸人たちが招請され、座敷で歌舞伎・人形浄瑠璃が上演された。この場には、山鹿素行・渋川春海など当時の著名な文化人が集って、観劇している。この弘前藩の文化サロンについて研究を実施した。資料として用いたのは、弘前市立図書館所蔵の『弘前藩庁日記』である。

弘前市立図書館においての原本調査を実施し、計7回の共同研究会を開催した。共同研究会では以下の研究発表8件と、それに基づく討議が行われた。

- ・平成14年9月25日 金子健「今治市河野美術館所蔵『歌舞伎遊楽図屏風』について」
- ・平成14年9月26日 鈴木博子「池田家・前田家記録からみた『弘前藩庁日記』の芸能記録について」
- ・平成14年11月12日 林公子「『弘前藩庁日記』の記述と「別紙／別帳」との関係について」
- ・平成15年12月8日 加賀佳子「津軽家上屋敷における芸能上演と、津軽家の人々・客の関係」(一)
- ・平成16年2月25日 加賀佳子「津軽家上屋敷における芸能上演と、津軽家の人々・客の関係」(二)
- ・平成16年2月25日 渡辺憲司「『山鹿素行年譜』について」
- ・平成16年7月18日 渡辺憲司「津軽家大名サロンと文芸…山鹿素行との関連を中心に」
- ・平成16年7月19日 青木直己「津軽藩江戸藩邸における菓子の饗応—上菓子大成期を中心に」

共同研究参加者は、これらの研究会開催にむけて、各藩の大家家記録の調査を各地の文庫・図書館において実施し、新資料の発掘を行った。また小人数による個別の研究会を開催し、新資料の翻刻、研究発表と討議のための諸調査を実施した。